

「(仮称) 墨田区学校改築基本計画」の検討状況について

1 趣旨

今年度策定予定の「(仮称) 墨田区学校改築基本計画」における改築対象校について、改築手法を含め、検討に進捗があったため、現在の検討状況について報告する。

2 改築対象校にかかる検討

(1) 築年数

今後 30 年のうちに築 80 年となる 22 校のうち、第四吾嬬小学校の校舎が現在築 68 年で最も古い。

(2) 建物の状態

耐震性能については、問題がある建物はないが、建物の状態を調査した結果、一部、長寿命化に適さない建物がある。

(3) 子どもの数の増減

子どもの数は、長期的には減少する可能性が高いが、現状は特に区の南部で増加が見られている。また、中学校については今後 3 5 人学級となる可能性があり、その影響を分析している。

(4) 改築手法

小学校では、敷地が狭い等の理由から、居ながら工事ができる学校は限られている。多くの学校で、別の場所に仮校舎を設けて移転し、その後に無人改築する必要があるため、居ながら改築ができる学校を拠点とした、複数校の連携による改築が必要となっている。

3 改築対象校の具体的な検討状況

(1) 第四吾嬬小学校と第三吾嬬小学校の連携による改築

第四吾嬬小学校は居ながら改築が難しいが、近隣校のうち、第三吾嬬小学校（築 57 年）は居ながら改築が可能である。このため、今回の計画では、先に第三吾嬬小学校を居ながら改築することとし、その校地内に第四吾嬬小学校の仮校舎を用意する。第四吾嬬小学校は、その仮校舎に移転した後に無人改築することとする。

これにより、第三吾嬬小学校が、現在設計中の八広小学校の次の改築校となる。

(2) その他の学校について

(1)と同様の複数校の連携による改築を含め、子どもの数の増による校内スペースの逼迫状況も注視しながら検討を進めている。

4 学校運営への影響と関係者への周知

改築の対象となる学校について、工事手順の工夫などで学校運営への影響を最小限にするとともに、今後の入学予定者の保護者も含め、保護者や地域の関係者への周知を進め、ご理解とご協力をいただくよう努めていく。